

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組①-3-a 1)	環境首都100万本植樹	【環境局】【財政局】【建設局】
②対応する目標・課題	市民が多様な自然と触れ合うことができる都市を目指す。		
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 植樹本数		■目標値: 約27万本(現時点) ⇒ 100万本(6万7千本/年ペース)
④取組内容			
(1) 環境首都100万本植樹			
<p>①ふれあい花壇・菜園～未利用市有地・公園の活用～ 未利用市有地や公園の一部を地域団体(まちづくり協議会など)に無償で貸出(公園は管理許可)し、花壇・菜園づくりに取り組む。</p> <p>②どんぐり銀行による苗木の育成～子どもによるどんぐり拾い、高齢者等による育苗～ 子どもによる種子になるどんぐり拾い、高齢者等による植樹用(植樹会時などに使用)の苗づくりを実施することで都市緑化、地域づくりに結びつける。</p> <p>③わたし記念日植樹～記念樹プレゼントによる市民植樹～ 市民の記念日に苗木を配付し、市民による自宅での植樹を推進する。</p> <p>④多世代交流による植樹会の実施～鳥がさえずる緑の回廊など～ 市民・企業・NPO・行政など多主体・多世代参加による植樹会を開催し、まちの森プロジェクトを推進する。 (植樹苗は②で育苗したものを使用)</p> <p>[植樹会などの例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥がさえずる緑の回廊植樹会(若松区響灘地区における緑化) ・記念日植樹 ・民有地における企業・NPOなどの自主的な植樹 <p>⑤街なかでまとまった緑の拠点「まちの森」の整備～八幡東田グリーングリッド事業～ 八幡東田地区において、行政・民間が連携して、自然と人が融合し環境未来都市を先導する緑の東田地区を目指す集中的な植樹を進める。</p> <p>⑥「北九州市水と緑の基金」に基づく緑化助成制度 ア)環境未来都市にふさわしい緑の創出 イ)「北九州市緑の基本計画」の推進</p>			
⑤エリア 市域全体 ※ただし八幡東田グリーングリッド事業については八幡東区東田地区			
⑥主体 市民、企業、NPO、行政など			
⑦活用した国等の制度 環境未来都市先導的モデル事業費補助金(内閣府) 社会資本整備総合交付金(国土交通省)			
⑧地域の関与 ・どんぐりの育苗及び植樹 ・民有地緑化 ・北九州市自然環境保全ネットワークの会との連携・協働 ・「市民活動団体等による環境未来都市推進事業」(24年度新設)による市民活動団体の支援 ・「ふれあい花壇・菜園事業」(24年度新設)による植樹等支援(未利用私有地の貸し出し等) ・「水と緑の基金」は一般市民・企業からの寄付金を積立て、その運用益で助成を行っている。			
⑨スケジュール			
23年度	どんぐり育苗 基金	記念樹配布	植樹会
24年度			花壇・菜園 道路・公園緑化等 民有地緑化助成 環境調査
25年度			
26年度			
27年度			
28年度			
29年度以降			
⑩他の取組との連携 取組名【①-3-a】まちの森プロジェクト～都市と自然の共生を目指したまちづくり～ 2) 里地里山の保全や利用～自然のふれあいと人に優しいコンパクトシティの形成 連携内容: 荒廃竹林を伐採し跡地にクヌギなどの保水力の高い樹木を植える取組は、里地里山の保全と植樹活動が連携した取組となる。			
⑪自立・自律の方針・目標 「北九州自然環境保全ネットワークの会」(自然ネット)やNPOなどの団体や企業、市民(ボランティア)などと協働で、苗づくりや植樹活動を推進していく。			